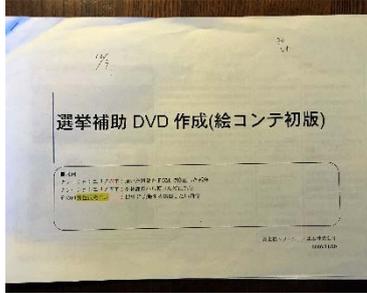


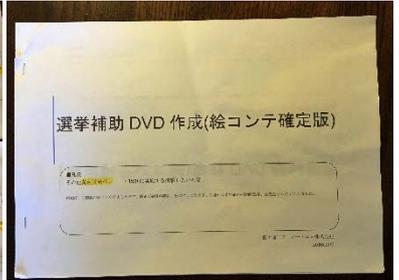
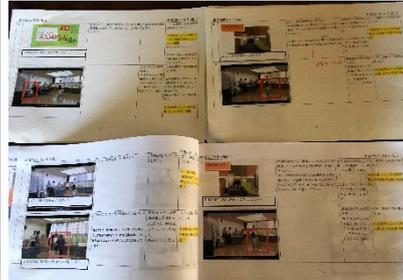
【11/22】於 富士通FOM 竹芝本社
FOM) 峠谷部長、谷口課長、齊藤氏親の会) 森井、矢田
←竹芝本社応接室より臨む 竹芝棧橋
今後の進め方のイメージを意識合わせ。※本打ち合せ後に、意識合わせ、イメージの可視化。市役所にて、平林部長、井上選管局長と共有化



←左 平林部長の当事者・家族宛お手紙を台本として、投票支援の流れに沿って写真を割り振る。絵コンテとした。
本式の絵コンテ仕様。ナレーション、キャプション、テロップ等の確認。右 →



【11/29】
狛江市にて絵コンテ初版の打ち合わせ。その後各課、関係各所にて、文言整理を行った。文言整理と場面の符合は至難。こんなに大変とは。
12/7 右端確定



【12/5、8】の午前、麦の穂とひかり作業所へ「模擬演説会」の出前。なり切り名演技。選挙公報誌作成は、各候補の政策を巡り議論。大変難しい。何をどう考えさせたいか、本当に選んでもらえるか、特性を乗り越えて「選ぶ」工夫が必要。
【12/9】平林部長による支援者向け研修会。熱心な質問で 30 分延長。被後見人選挙権回復は「議員立法で成立」「法律は改正されたけど、現場のことは考えられていなかった」「投票事務の現場は市の職員」等、選挙の仕組み、投票支援の必要性の根拠、狛江の取組み、等々話題満載



12/9 模擬投票の撮影本番 狛江市役所 於 4 階 特別会議室 多くの市職員の方が朝早くから準備に参加。FOMの斎藤さん、撮影ディレクターの石川さん、カメラマンの富樫さん、絵コンテを見ながらの位置決め、腕章が分かるように等々の確認。高橋市長さんから応援のスピーチを頂きました。「狛江市明るい選挙推進協議会」から投票管理者&立会人



投函場面の確認

個別の配慮が必要 投函への支援

